

- 問1 幕末の貿易統計によると、1865年の輸出総額のうち約8割を生糸が占めるほど輸出が急増していました。このように特定の品目の輸出が短期間に激増したことが、当時の日本国内の経済に与えた影響として最も適切な説明を選びなさい。(2018年 富山県公立入試 類似)
1. 国内で生糸が品不足となり、物価が激しく上昇した
  2. 生糸が大量に売れ残ったため、国内の物価が急落した
  3. 綿糸の輸出も同時に増えたため、綿織物業が急速に発展した
  4. 海外から安価な生糸が大量に流入し、養蚕農家が大きな打撃を受けた
- 問2 19世紀後半のアメリカにおいて、奴隷制の存廃や、貿易政策をめぐる北部と南部の対立から発生した内戦を何といいますか。(2026年 栃木公立入試 類似)
1. 南北戦争
  2. アメリカ独立戦争
  3. ピューリタン革命
  4. 南北問題
- 問3 幕末の長州藩に関連する出来事について述べた文として、正しいものを一つ選びなさい。(2019年 和歌山公立入試 類似)
1. 坂本龍馬らの仲介によって、対立していた薩摩藩と薩長同盟を結んだ
  2. 井伊直弼が主導した安政の大獄によって、藩主が処刑された
  3. 戊辰戦争の際には、幕府側の中心として会津藩などと奥羽越列藩同盟を結んだ
  4. ペリーの来航後、すぐに開国を主張してイギリスとの間に日英通商破壊条約を結んだ
- 問4 日米修好通商条約の締結によって貿易が本格化した際、イギリスなどの欧米諸国から機械生産による安価な製品が大量に流入しました。これにより、日本の農村部などの生産地に大きな打撃を与えた品物の組み合わせとして正しいものを選択してください。(2025年 愛媛公立入試 類似)
1. 綿糸・綿織物
  2. 生糸・茶
  3. 絹織物・陶磁器
  4. 毛織物・鉄鋼
- 問5 1858年に調印された日米修好通商条約に基づき、日本は五つの港を外国に開くことになりました。この五港のうち、2019年にラグビーワールドカップの会場となった十二の都市(札幌、釜石、熊谷、調布、横浜、袋井、豊田、東大阪、神戸、福岡、大分、熊本)にも含まれている都市の組み合わせとして、正しいものはどれですか。(2019年 奈良公立入試 類似)
1. 横浜と神戸
  2. 長崎と函館
  3. 新潟と札幌
  4. 福岡と熊本
- 問6 産業革命の影響と、労働者の動きについて述べた次の文のうち、歴史的な事実として正しいものはどれですか。(2026年 神奈川公立入試 類似)
1. イギリスでは、労働環境の悪化に対抗するため労働組合が作られ、やがて選挙権の拡大を求める運動などにもつながった。
  2. イタリアでは、産業革命の開始と同時に社会主義による計画経済が導入されたため、労働組合は組織されなかった。
  3. 日本では、江戸時代の問屋制家内工業が発展する中で、工場労働者による大規模な労働組合が世界に先駆けて結成された。
  4. イギリスの労働者は、機械の導入を歓迎して労働時間を自発的に延長し、輸出額の増加を全面的に支援した。
- 問7 江戸幕府の第15代将軍である徳川慶喜が「大政奉還」を行った背景や目的の説明として、最も適切なものはどれですか。(2023年 福井公立入試 類似)
1. 武力による倒幕を目指す勢力の口実をなくし、天皇を中心とした新しい政治体制の中で徳川家が実権を維持しようとした。
  2. 全国の藩主に対して土地と人民を天皇に返還させ、天皇が全国を直接統治する仕組みを整えるために行った。
  3. 欧米列強との不平等条約を改正するために、幕府の権限をすべて天皇に譲渡して責任を回避しようとした。
  4. 関白や摂政といった古い役職を廃止し、総裁・議定・参与の三職を置く新たな政府を樹立することを目的とした。
- 問8 19世紀半ば、イギリスから清(中国)へ大量のアヘンが密輸出されていたことを発端として、清がアヘンの取り締まりを強化したことで発生した戦争は何か、次の中から選びなさい。(2026年 栃木公立入試 類似)
1. アヘン戦争
  2. 義和団事件
  3. 日清戦争
  4. 太平天国の乱
- 問9 19世紀半ば、イギリスは他国に先駆けて産業革命を達成し、大量の工業製品を世界中に輸出しました。当時のイギリスの経済的な繁栄ぶりを象徴する呼び名を次から選びなさい。(2025年 沖縄公立入試 類似)
1. 世界の工場
  2. 太陽の沈まない国
  3. 自由貿易連合
  4. 文明の十字路
- 問10 産業革命期に成立した「工場制機械工業」と、それに伴う人口の動きについて正しく述べたものはどれですか。(2019年 歴史公立入試 類似)
1. 蒸気機関などの動力を利用した機械が工場に導入されたことで大量生産が可能になり、多くの労働者が集まった都市へ人口が集中した。
  2. 手作業を中心とする工場に多くの労働者が集まって分業を行う形態が普及し、農村部での人口増加が顕著になった。
  3. 機械化により労働力がなくなってきたため、人々は仕事を求めて都市から離れ、全国各地の農村へ分散して定住するようになった。
  4. 工場での生産が衰退した代わりに、自宅で製品を加工する家内工業が中心の産業となり、都市の人口は減少に転じた。
- 問11 幕末から明治時代にかけて、日本にとって「関税自主権がない」状態が続いたことは、当時の日本経済にどのような影響を与えましたか。その背景と結果として最も適切な説明を選びなさい。(2020年 新潟県公立入試 類似)
1. 安価な外国製の綿製品が大量に流入した際、関税による価格調整ができなかったため、国内の綿織物業が打撃を受けた。
  2. 日本製品を輸出する際に相手国から高い関税をかけられたため、貿易赤字が続いて国内の貨幣が不足した。
  3. 外国の商人が日本で犯罪を犯しても日本の法律で裁けなかったため、貿易のルールが守られず市場が混乱した。
  4. 政府が輸入品に高い関税をかけることで財政を潤そうとしたが、外国の反発を招いて自由貿易が停滞した。
- 問12 19世紀におけるイギリスとインドの貿易関係について、産業革命の影響をふまえて述べた文として最も適当なものはどれですか。(2018年 北海道公立入試 類似)
1. イギリスはインドから綿花を輸入し、工場で大量生産した綿織物をインドへ輸出した。
  2. イギリスはインドから生糸を輸入し、伝統的な技術で作られた絹織物をインドへ輸出した。
  3. イギリスはインドから羊毛を輸入し、機械化された工場で生産した毛織物をインドへ輸出した。
  4. イギリスはインドからアヘンを輸入し、代わりに中国産の茶をインドへ輸出した。
- 問13 日米修好通商条約が結ばれた後の日本の状況として、後の明治初期に見られる「レンガ造りの建物や洋装の人々が行き交う近代的な都市景観」などの変化へとつながる、条約の経済的・制度的な特徴を説明したものはどれですか。(2026年 山口公立入試 類似)
1. 日本に領事裁判権を認めさせ、さらに関税の税率を日本が決めることができない関税自主権の欠如によって、外国製品が流入しやすい状況となった。
  2. 日本が輸出入品の関税を自由に決定できるようになったため、安価な外国製品に高い関税をかけ、国内の伝統産業を保護しながら近代化を進めた。
  3. アメリカに限定して自由な貿易を許可したため、鎖国体制を維持したまま、江戸の街並みを西洋風に作り替える大規模な都市開発が行われた。
  4. ハリスが駐日総領事として下田に着任し、幕府との交渉によって日本が持つ領事裁判権を強化することで、外国人とのトラブルを未然に防いだ。

## 答え合わせ・解説

問1	答え 1 国内で生糸が品不足となり、物価が激しく上昇した	生糸などの国内製品が大量に輸出されたことで、日本国内では商品が不足し、物価の著しい上昇を招いて庶民の生活を圧迫しました。幕府はこれに対抗するため、生糸を含む5つの品目（生糸、雑穀、蠟、呉服、油）を必ず江戸の間屋を経由させてから輸出させる「五品江戸回送令」を出しましたが、地方の生産者や商人がこれに反対したため、十分な効果を上げることはできませんでした。
問2	答え 1 南北戦争	1861年から始まったこの戦争は、工業化が進み奴隷制に反対する北部と、広大な農地で綿花を栽培し奴隷制を維持しようとする南部との対立によって起こりました。当時のアメリカを二分した最大の内戦です。
問3	答え 1 坂本龍馬らの仲介によって、対立していた薩摩藩と薩長同盟を結んだ	長州藩は当初、京都での政局を巡って薩摩藩と対立していましたが、1866年に土佐藩出身の坂本龍馬や中岡慎太郎の仲介により、薩摩藩と軍事同盟である薩長同盟を締結しました。これが倒幕に向けた決定的な転換点となりました。安政の大獄で処刑されたのは藩主ではなく、松下村塾で多くの人材を育てた吉田松陰らです。
問4	答え 1 綿糸・綿織物	産業革命を経験した欧米諸国から、工場で大量生産された安価な綿糸や綿織物が輸入されるようになりました。それまで日本の農村で手作業によって行われていた綿作や綿織物業は、価格競争に勝つことができず、国内の生産地は深刻な経済的打撃を受けることとなりました。一方、生糸や茶は当時の主要な「輸出」品目です。
問5	答え 1 横浜と神戸	日米修好通商条約によって開港が定められたのは、函館、神奈川（現在の横浜）、兵庫（現在の神戸）、長崎、新潟の五港です。このうち、ラグビーワールドカップの開催都市リストに含まれているのは横浜と神戸になります。長崎、函館、新潟も開港場ですが、今回のラグビーワールドカップの開催地には選ばれていません。
問6	答え 1 イギリスでは、労働環境の悪化に対抗するため労働組合が作られ、やがて選挙権の拡大を求める運動などにもつながった。	イギリスの労働運動は、単なる待遇改善にとどまらず、政治への参加（チャーティスト運動など）にも発展しました。なお、問屋制家内工業は産業革命以前の生産形態であり、労働組合とは異なります。また、イタリアの計画経済や機械の導入を無条件に歓迎したという記述も事実には反します。
問7	答え 1 武力による倒幕を目指す勢力の口実をなくし、天皇を中心とした新しい政治体制の中で徳川家が実権を維持しようとした。	当時の徳川慶喜は、倒幕派による武力行使を避けるため、形式的に政権を朝廷へ返上しました。その狙いは、天皇のもとに諸藩の代表が集まる議会形式の政治体制を作り、その中で最大の勢力である徳川家が政治の主導権を握り続けることにありました。なお、土地と人民を返上させるのは「版籍奉還」、三職の設置は「王政復古の大号令」に関する記述であり、大政奉還とは時期や内容が異なります。
問8	答え 1 アヘン戦争	イギリスは自国の貿易赤字を解消するために、植民地のインドで生産させたアヘンを清へ密輸していました。清が国民の健康被害や銀の流出を防ぐためにこのアヘンを厳しく没収・処分したことで、イギリスが軍艦を派遣し、武力衝突に発展しました。
問9	答え 1 世界の工場	18世紀後半から始まった産業革命により、イギリスは圧倒的な生産力を誇りました。蒸気機関などの新技術を導入して綿製品などの工業製品を安価に大量生産し、世界各地の市場へ供給する中心地となったことから、このように称されました。
問10	答え 1 蒸気機関などの動力を利用した機械が工場に導入されたことで大量生産が可能になり、多くの労働者が集まった都市へ人口が集中した。	工場制機械工業は、自然の力（水車など）や人力ではなく、蒸気機関などの強力な動力を活用して機械を動かし、一箇所に集まった労働者が製品を大量に生産する仕組みです。この生産体制の確立は、職を求める人々を都市へ引き寄せ、社会の仕組みを農村中心から都市中心へと大きく変容させました。
問11	答え 1 安価な外国製の綿製品が大量に流入した際、関税による価格調整ができなかったため、国内の綿織物業が打撃を受けた。	関税自主権を欠いていると、自国の産業を保護するために輸入品の価格をコントロールする手段が制限されます。開国後、産業革命を経たイギリスやアメリカから機械製の安価な綿織物が大量に輸入されましたが、日本はこれに十分な関税をかけることができず、手工業中心だった国内の綿織物農家や職人が苦境に立たされました。このため、条約改正による関税自主権の回復は、明治政府の最優先課題の一つとなりました。
問12	答え 1 イギリスはインドから綿花を輸入し、工場で大量生産した綿織物をインドへ輸出した。	産業革命によって綿工業が飛躍的に発展したイギリスは、原料である綿花をインドやアメリカなどから輸入し、製品化した綿織物を世界中に輸出しました。以前はインド産の綿織物が人気でしたが、機械生産による安価なイギリス製品が逆にインド市場を席巻することになりました。毛織物は産業革命以前のイギリスの主力産業であり、絹織物は中国や日本などの主要産品であるため誤りです。
問13	答え 1 日本に領事裁判権を認めさせ、さらに関税の税率を日本が決めることができない関税自主権の欠如によって、外国製品が流入しやすい状況となった。	日米修好通商条約によって始まった自由貿易は、日本に不平等な条件を強いるものでした。特に「関税自主権がない」ことは、輸入品の税率を日本が決められないことを意味し、安価な綿製品などが大量に流入して国内産業に影響を与えました。一方で、こうした海外との交流や不平等条約の改正を目指す動きが、後の明治維新や、都市の西洋化（文明開化）といった社会の大きな変化を引き起こす要因となりました。